

スクリーン ミニレポ

本誌は、当社の最新のニュースと事業活動をお知らせする月刊情報誌です。

目次

- ・当社顧問が製版工程のデジタル化に貢献
- ・「セミコンヨーロッパ99」展に微細化ソリューションを提案
- ・半導体・液晶ディスプレイ製造装置の保守サービス子会社2社を統合
- ・新聞関連業界向けの色校正システムを新発売
- ・高精細パターンのプリント配線板外観検査システムを発売
- ・ISO14001の2年次審査終わる

当社顧問が製版工程のデジタル化に貢献 ～ 科学技術庁長官賞を受賞～

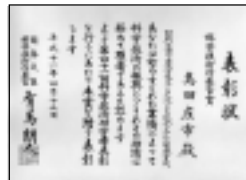
本年度の科学技術庁長官賞の「第41回科学技術功労者」に当社の島田庄市顧問が選ばれ、4月13日に表彰を受けました。同顧問は1956年、当社に入社し電子機器部門を経て、1989年に開発本部長に就任。以来、印刷製版技術の研究開発に携わりました。

1990年初頭までの製版工程は、熟練者を要し複数のプロセスに分かれており、デジタル化が遅れていました。そのためより安いコストで多品種少量の印刷物を効率的に短期間で制作するのが困難でし

た。これらを解決するためには、文字や画像情報を共有できるデジタルデータにし、一台のコンピューターで複数の製版工程が作業できるシステムづくりが必要とされていました。今回の受賞は、同顧問がこれらのシステムやそれに適した入出力デジタル機器やデジタルフォントを開発し、その結果、国内での印刷製版技術の発展に貢献したと認められたものです。



島田庄市顧問



表彰状

「セミコンヨーロッパ99」展に微細化ソリューションを提案

当社は、4月13～15日に開催された「セミコンヨーロッパ99」に8インチウエハーを主体とした先端の半導体製造装置を、代理店Macrotron社と共同で出展しました。この展示会は開催地が昨年までのスイスのジュネーブからドイツのミュンヘンに移り、出展社数が978社と若干増加しました。

当社は、次世代コータ・デベロッパ「SK-2000」、低誘電体コータ「SC-W80A」、単槽式洗浄装置「FC-821L」などの新製品を紹介するとともに、コンパクトな単槽式洗浄装置の「FL-820L」を実機展示して注目を集めました。

欧州の半導体市場は、ほかの地域に比べて大きな落ち込みを見せなかったものの、昨年は半導体不況に直面し、設備投資の沈滞が続きました。しかし、ここ数

カ月来の市況の回復で、設備投資を再開するユーザーも増えてきました。このような中での今展示会は、当社ブースへの来場者も大幅に増え、活発な商談が展開されました。

ユーザーの設備投資の対象は、0.18～0.13ミクロンへの微細化とそれに付随するCMP平坦化、銅配線、低誘電体絶縁膜などへの対応を目的とするものです。当社は、「微細化ソリューション」として前述の装置とそのアプリケーションを紹介して注目を集めました。



回復のきざしが見られた展示会の様子

半導体・液晶ディスプレイ製造装置の保守サービス子会社2社を統合(1999年4月5日付発表)

当社は、半導体・液晶ディスプレイ製造装置の保守サービスを行う子会社2社を4月1日付で統合しました。

これは、「株式会社ディ・エス・テック仙台(1995年10月16日設立)」を「株式会社ディ・エス・テック東京(1995年10月1日設立)」に吸収合併したものです。これにより、事務の効率化および迅速化、サービス要員の集約とより専門分野に分けたメンテナンスサービスを提供します。なお、「株式会社ディ・エス・テック

東京」は大日本スクリーンの100%出資の子会社、「株式会社ディ・エス・テック仙台」は、株式会社ディ・エス・テック東京の100%出資の子会社です。

<株式会社ディ・エス・テック東京の概要>

存続会社 : 株式会社ディ・エス・テック東京

解散会社 : 株式会社ディ・エス・テック仙台

吸収合併日 : 1999年4月1日

資本金 : 7,000万円

(大日本スクリーン100%出資)

代表者 : 代表取締役社長 高橋 邦寿

本社所在地 : 東京都豊島区東池袋3丁目23-14

ダイハツ・ニッセイ池袋ビル3F

従業員数 : 83名

新聞関連業界向けの色校正システムを新発売(1999年4月8日発表)

当社は、新聞関連業界向けの色校正システムとしてデジタルカラーブルーフィングシステム「PressProof(プレスブルーフ)」を開発、4月8日から販売しました。新聞紙面制作のデジタル化・カラー化が進み、高品質、かつ迅速にカラー印刷を処理することへの要求が高まる中、課題となっていた業界独自のデジタルワークフローに対応したカラーブルーフィングを実現。さまざまなデータ形式や原稿に柔軟に対応し、紙面制作の各工程の目的にあったカラーブルーフィングができます。印刷関連機器で培った高度なデバイス技術とカラーマネジメント技術で、最終の印刷物に忠実な色再現を実現。自動化機能と新聞製作に特化した各種処理機

能を搭載し、新聞関連業界におけるデジタルカラーブルーフィングへのソリューションを提供します。

<国内標準販売価格・税別>
1,280万円
(本体+コントローラーソフト)
<販売予定数>
初年度50セット



新聞製作のカラー化をバックアップする「PressProof」

高精細パターンのプリント配線板外観検査システムを発売(1999年4月14日発表)

当社は、プリント配線板の高精細パターンを世界最高速で検査する光学式外観検査システム「PI-6000」シリーズを4月14日から販売しました。

電子機器の小型化でプリント配線板パターンの微細化が進み、目視による外観検査では欠陥を発見することが困難であることから、高性能な光学式外観検査装置が求められていた状況に対応したものの、「PI-6000」はプリント配線板に形成された回路パターンを光学的に読み取り、パターンの欠け、突起、ショート、ピンホールなどパターンの欠陥を自動的に検出する装置。ICパッケージ用基板、電源層、フレキシブルプリント基板、アナログ回路、表面実装回路に形成された曲線パターンなど、従来欠陥の検出が難

しかったパターンが検査でき、さらに検査スピードのアップと生産性の向上を図っています。

このたび発売するシステムは、「PI-6300」「PI-6400」「PI-6600」の3機種で、昨年6月に発売した高速・高精細タイプの最上位機種「PI-6800」を加えて、エコノミータイプから高精細・高生産性タイプまでの4機種がそろい、業界のあらゆるニーズに応えられます。



最上位機「PI-6800」7,000万円から

ISO14001の2年次審査終わる

当社の本社地区事業所では、ISO14001の2年次サーベランスを3月18・19日に受審し、3月29日付で合格しました。審査の主眼は、(1)エネルギーの削減、(2)廃棄物の削減、(3)コピー用紙の削減の3つの活動が継続的に改善されているか、(4)開発部門の製品アセスメントの実施および(5)他事業所のISO認証取得活動に対する環境管理室・総務部を主体とした支援が取り組まれているか。

その結果、(1)~(3)については高いレベルの改善が認められ、(4)、(5)の2項目については、本社地区内部にとどまらず、事業活動による間接的影響まで考慮した取り組みが認められました。

一方、久世事業所では、初動審査が3月25・26日に実施され、無事に合格しました。いくつかの観察項目を指摘されましたが、5月下旬の本審査に向けて、指摘事項の改善と要求事項の完備に取り組むこととなります。



by MIXA IMAGE LIBRARY

スクリーンミニレポ No. 207
1999年4月27日発行

大日本スクリーン製造株式会社

〒602-8585

京都市上京区堀川通り寺之内上ル4丁目

Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500

発行人：広報室 齋藤牧夫